

平成23年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	普及	題名	10月上旬開花の切り花向け青色リンドウF ₁ 品種「いわて VLB-1号」の育成		
[要約] 「いわて VLB-1号」は10月上旬開花の切り花向け青色リンドウF ₁ 品種で、既存晩生品種「ジョバンニ」と比べて頂花房が開花しやすく、形質のばらつきが少ない。					
キーワード	リンドウ	F ₁ 品種	極晩生	技術部野菜花き研究室	

1 背景とねらい

県が育成したリンドウの既存品種には、10月上旬開花の品種がないため、生産現場からは早期の品種育成が求められている。また、品種特性としては、出荷率を上げるために頂花房が開花しやすいもの、形質が揃うものが望まれている。

そこで、10月上旬開花で形質が優れた品種の育成を目的に、組合せ能力検定を実施した結果、「いわて VLB-1号」が有望と認められたので、その特性を紹介する。

2 成果の内容

(1) 来歴及び育成経過

平成19年にエゾリンドウの選抜系統「Ba」を母本、エゾリンドウの選抜系統「YRy」を父本として交配し、平成21年～23年にかけて特性を調査して育成を完了したF₁品種である。

(2) 特性の概要

ア 開花期：県北、県央、県南で概ね10月上旬に開花し、既存晩生品種「ジョバンニ」よりも4～5半旬遅い(表1)。開花始めから終わりまでの期間は「ジョバンニ」と比べてやや短い(観察)。

イ 花：花色は「ジョバンニ」よりやや濃い青色であり、頂花房は開花しやすい(表2、図1、図2)。

ウ 形質の斉一性：草丈、茎径など、形質のばらつきは「ジョバンニ」と比較して少ない(表2、図3)。

エ 草丈：「ジョバンニ」より40cm程度高く、伸長しやすい(表2)。

オ 茎：アントシアニンによる着色は「ジョバンニ」より多い(表2、図1)。

カ 葉色：葉色は「ジョバンニ」よりやや淡い(表2、図2)。

キ 側枝：側枝の発生は「ジョバンニ」よりやや多い(表2)。

3 成果活用上の留意事項

(1) 草丈が高いため、対応する支柱・ネットを設置する。

(2) 平成21年～23年の慣行防除管理下において、問題となる病害の発生は無かった。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

県下全域

(2) 期待する活用効果

普及見込み面積 3ha/年(種子供給開始5年後の栽培面積)

5 当該事項に係る試験研究課題

(191-1000) りんどうの品種開発[S49～H25/令達]

6 研究担当者

中里崇

7 参考資料・文献

平成22年度岩手県農業研究センター研究成果書「9月下旬開花の切り花向け青色リンドウF₁品種「いわて LB-2号」の育成」

8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 農業研究センター及び現地実証圃の開花期（平成22年～23年）

	株齢	開花期 (月・半旬)
一戸町	2年生	10・2
	3年生	10・1
花巻市(農研セ検定圃)	2年生	10・1
	3年生	10・1
奥州市衣川区	2年生	10・1
	3年生	10・1
一関市	2年生	10・1
	3年生	9・6
対照:ジョバンニ 花巻市(農研セ検定圃)	3年生	9・3
	北上市(農研セ内圃)	3年生

表2 「いわて VLB-1号」の特性(平成23年、農研セ、3年生株)

形質	育成品種	対照品種
	いわてVLB-1号	ジョバンニ
花冠外面の色 ¹⁾	VIOLET-BLUE 96A	VIOLET-BLUE 94A
頂花房の開花性 ²⁾	易～中	中～難
花段数(段)	9.2 ± 1.2 ³⁾	7.0 ± 1.1
草丈(cm)	176.5 ± 4.8	139.7 ± 7.8
茎径(mm)	5.9 ± 0.3	5.6 ± 0.7
茎の着色程度 ⁴⁾	1.8 ± 0.4	0.5 ± 0.7
側枝発生程度 ⁵⁾	1.2 ± 0.4	0.9 ± 0.5
節数(節)	30.7 ± 1.8	29.5 ± 2.1
立茎数(本)	11.5 ± 3.5	11.2 ± 4.8
切り花重 ⁶⁾ (g)	121.9 ± 15.8	91.7 ± 20.6
葉色 ⁷⁾	中	中～濃

1) RHS カラーチャートによる

2) 易～中～難

3) ±以下は標準偏差

4) 無:0～淡:1～濃:2 (主茎の基部から2/3のアントシアニンによる着色)

5) 無:0～少:1～中:2～多:3

6) 地際部で切った場合の重量

7) 淡～中～濃



図1 「いわて VLB-1号」の草姿



図2 頂花房の開花
左:いわて VLB-1号 右:ジョバンニ



図3 「いわて VLB-1号」と「ジョバンニ」における形質の斉一性の違い
左:いわて VLB-1号 右:ジョバンニ
撮影: H23.9.13